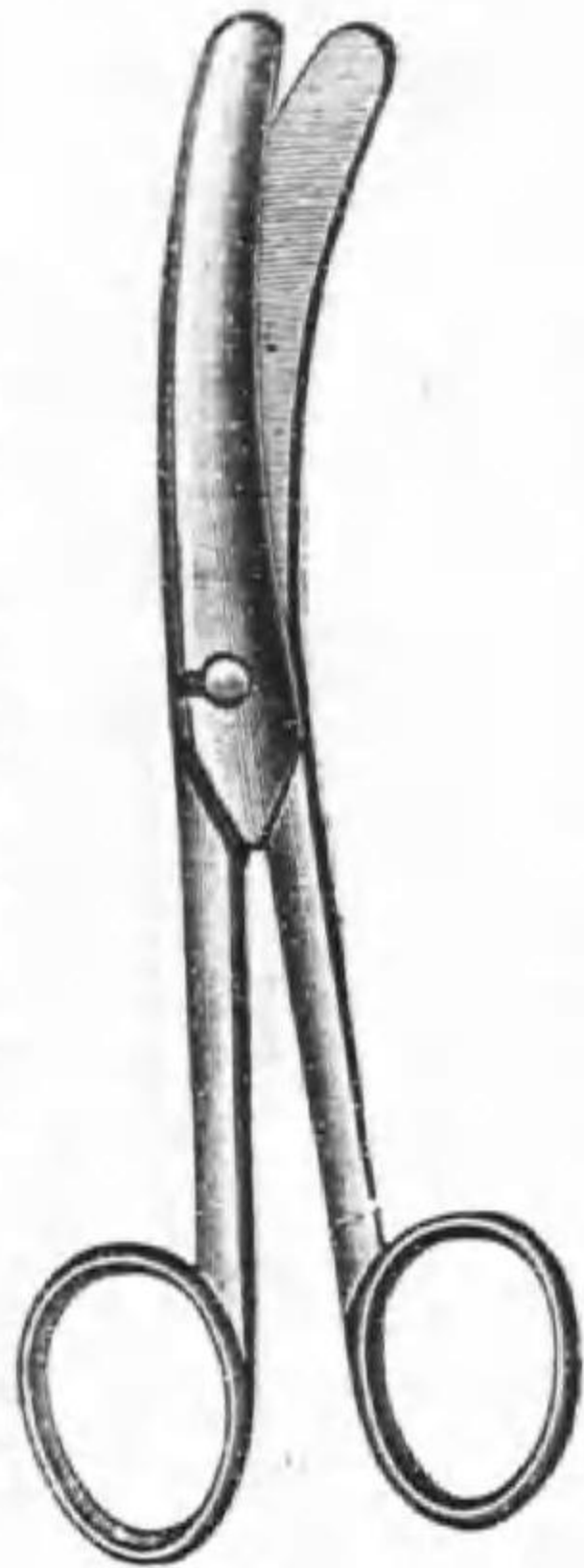


本日は第五章中の第三節器械消毒法第四節綑帶材料消毒法及び第五節衣類消毒法を講義し、これで消毒法を了り、従つて豫備論全部を講了しやう。

### 第三節 器械の消毒法

脐帶剪刀 (一三)

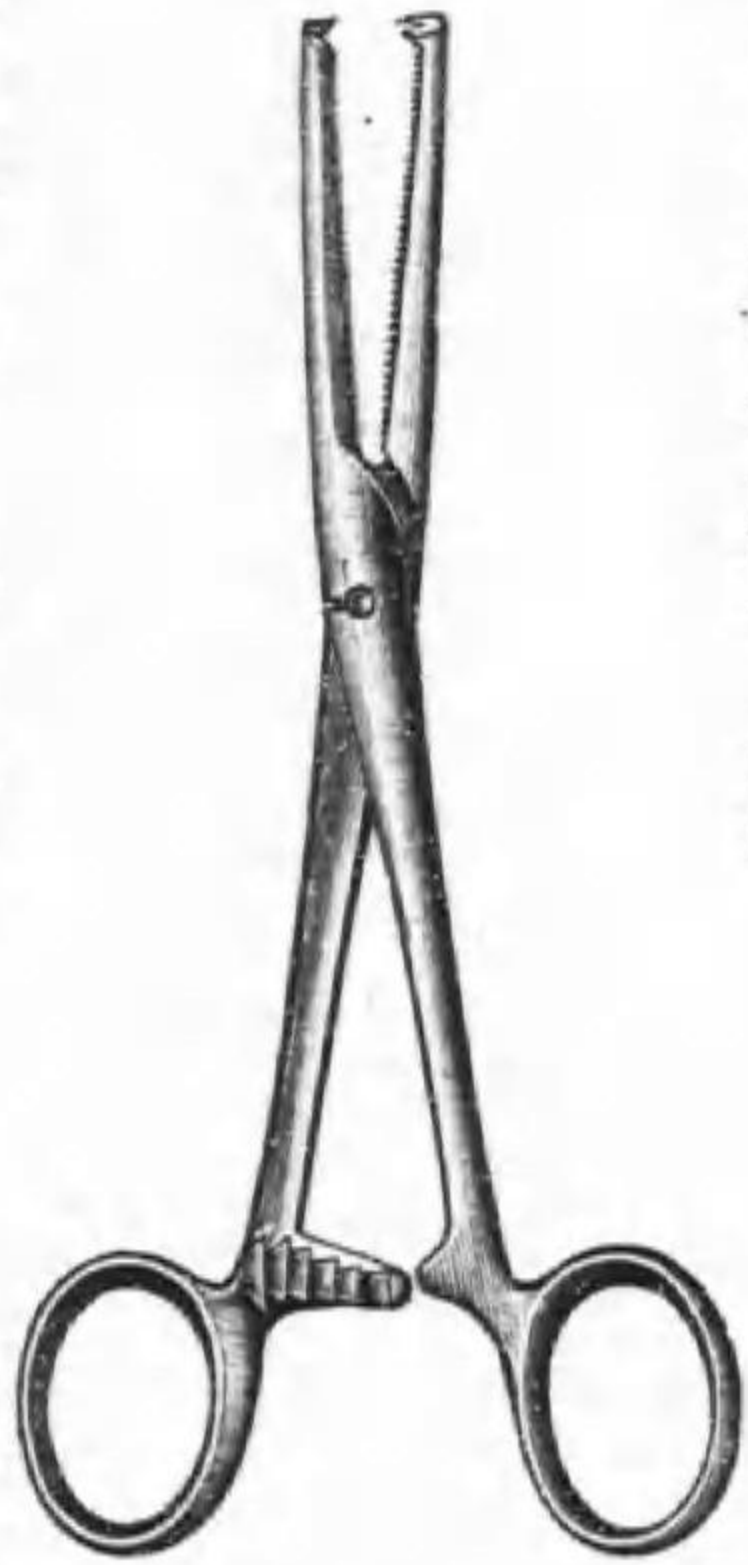


著者式脐帶剪刀 (一四)



一、煮沸消毒 煮沸に耐ふる器械は、金屬製 木製 硝子製 等である。硬「ゴム」製器械は熱の爲軟化變形するが、變形しても差支ないものは煮沸しても宜い。「ゴム管」類は只一回丈けなら煮沸してもよい。例へば排膿管などは煮沸消毒し得るが、「イェルリガートル」附屬の「ゴム」管を數回煮沸すると遂に用に耐へなくなる。「ゴム」製手袋類も短時間の煮沸に耐へ得るが、次の蒸氣消毒の方がよい。ネラト

金屬製排尿カテーテル (一六)



コヘツル氏止血鉗子 (一五)

シ氏排尿管「カテーテル」などは「ゴム」製だが其質が緻密で能く熱に耐へ得る。

▲分娩時に産婆が煮沸消毒すべき筈の器械は通常次の如くである。

- 一、脐帶剪刀及び「脐帶結紮絲」
  - 二、コツヘル氏鉗子及び鑷子
  - 三、金屬製及びネラトン氏排尿管「カテーテル」及び嘴管
  - 四、刷毛及び「適當の大きさの脱脂綿」
- 「内」は綑帶材料であつて通常蒸氣消毒を施すが、器械と共に煮沸消毒をしてもよい。「カテーテル」とは凡て管である。鉗子とは挟む器械である。シンメルブッシュ氏煮沸消毒器の主

ネラトン氏排尿カテーテル (一七)



ピンセット (一八)



要部分は長方形の金屬箱で、これに次の如き附屬物が有る。

- (1) 蓋を付け蝶番で開閉が自由
- (2) 外壁を作り以て火氣を集め、此壁の上部の孔から餘熱を逃して

ゐる。

(3) 脚を附けて火熱上に置くのに便にしてある。圖は瓦斯を火熱としたものが「アルコールランプ」石油ランプ、炭火等を以て代用し得る。

(4) 内部に金網を具へ、一は器械の破損を防ぎ、一は器械を搬出するに便にしてある。搬出の爲めには二個の鈎がついてある。

▲内務省令傳染病豫防法では「沸騰後三十分以上煮沸すべし」とある。これは明らかに病毒に汚染せられたもの或は汚染の疑深いものに應用する故かく長時間を要するのである。然るに手術器械類は此く長時間では手術中急に器械を要する時に間に合はない。殊に分娩時には急に器械を要する事が多い。此場合に三十分以上も待つては、お産が済み終るか或は母子何れかに危険の起る。

産婆に直接關係ある繃帶材料は教科書に示してある。其他卷軸帶(繃帶晒布を長

### 第四節 繃帶材料の消毒法

「ニツケル」鍍金を施したもので「リゾール」水中に長く浸漬する時は縁錆を生ずる。  
▲内務省令傳染病豫防法では、石炭酸水又は「クレゾール」水にて衣類を消毒するのは「二時間以上浸漬すべし」としてある。

二、消毒液による方法  
事もある。依て治療用器械は五十分で宜いとする。然し其代り平常から何時も清潔にして保存して置かねばならない。即ち使用後必ず十分に煮沸消毒して後適當に保存して置けば、非常の急を要する時は只に消毒液に一寸浸して使用する事が出来る。但しこれは無論不完全の消毒であるから已むを得ない時のみに限る。これは破格の法であつて之を法則と考へてはならぬ。従つて試験の答案には記すべき事柄ではない。實際産婆となつた後に、お産は急に迫る、而も火を作り湯を沸騰せしむる迄に多くの時を要する場合などに萬已むを得ない臨機の處置としてする事があるのである。

く裂いて巻いたもの) 油紙、絆創膏等も繻帶材料の内である。

一、煮沸消毒法 外陰部消毒等の爲め使用する脱脂綿は、半手掌大の數片に引斷り、其中央を二折して柏餅の如くにし、其折り目を平行に行儀よく並べて置くこと使用時に甚だ便である。

二、蒸氣消毒法 消毒罐中に風呂敷様の布を一枚敷いて包むのは、消毒後萬一罐の間隙から不潔物の入った時にも、幾分防禦し得ると云ふ意味である。

シンメルプッシュ氏蒸氣消毒器の主要部は、外中内の三層の壁から出来た筒と見ればよい。外壁と中壁との間は、上部は閉ち下部は開いて火氣を外、中兩壁間に集め、外壁の上部の小孔から逸出させる、

産婆携帶用蒸氣消毒器 (一九)



即ち其孔は煙出し口のやうなものである。中壁と内壁は共に底を有し兩壁間に容れた水を熱して水蒸氣を發生せしめる。此兩壁間の上方は閉ちてあるから、兩壁間上部に滿ちた水蒸氣は内壁上部の小孔から内壁の内腔に向つて出でそれで目的物を消毒する。内中兩壁間の腔には、水の注入口と、消毒後の排水口がある。共に蒸氣發生中は密閉して置かねばならぬ

内壁の内腔中に出て用をなした後の蒸氣の排出口は、通常内壁底面にあつて鉛管でもつて槽中の水に導かれる。其他附屬として次の装置がある。

- (1) 蓋を附し螺旋により密閉し得るやうにする。蓋の中央には攝氏百度を計り得る檢温器が挿してある。檢温器は筒の横に装置したものもある。
- (2) 脚を附して火熱の上に置くに便にしてある。
- (3) 外壁の上部に把手を附けて運搬に便にしてある。
- (4) 消毒が出来た後に、ハンドルをまはして、蒸氣の出る方向をかへ、内壁内部の蒸氣を外へ吸ひ出して、消毒された物を乾燥する仕掛けになつてゐるものもある。

▲内務省令傳染病豫防法 では「一時間以上攝氏百度以上に……」とある。凡て法令の時間は教科書の時間を熟知した後記憶するがよい。同時に知らうとすると、却つて混同する虞がある。

### 第五節 衣類の消毒法

傳染病豫防の目的で衣類寝具等大きい物の消毒を完全に行ふには、大規模の釜を

横に据へ、軌道で消毒物を出し入れしめ、緊張蒸気を送つて消毒する。曹達水は炭酸曹達(俗に曹達と云ふ)を二%の割に溶かし、加熱して用ふる。石鹼汁は、加里石鹼又は緑石鹼を三%の割に溶かし、やはり加熱して用ふる。以上で豫備論全部を終つた。こゝに於て教科書第一巻の全部を始めから一巻復習せねばならないのだが、

- 一、骨盤
- 二、消毒法
- 三、女性内生殖器
- 四、數學

の順に、以上の四點を十分に記憶し、若し餘力があれば殘部を復習するがよい。復習の時には書物の初めから平等にコックと腦中に注ぎ込むのは損である。要所々々を選んで先づよく覚え、よく覚えたら、次に他の所を覚える様にするがよい。殊に教科書の方はよく記憶して、獨習書の方は参考に供する程度でよい。

書 取

「かんさう」(かはかす)「けつさつし」「せうどくくわん」「だつしめん」「めんさ」

試験問題

◎産婆用器械の消毒法

(埼玉大正二、十)

◎産婆用器械の名稱及其消毒法

(埼玉大正四、十)

◎産婆の携帯すべき器械及消毒法

(東京大正五、四)

◎同上

(栃木大正二、十)

◎器具消毒につきて詳記せよ

(埼玉大正五、十)

〔答〕 單に器具とある時は、産婆用器械の他に、寢臺、卓、椅子、戸棚、食器、等の器具をも含む意なるかも知れないから其場合の説明に従ふがよい。一般器具も器械と同様に消毒するのだが、熱又は消毒液に耐へない物品は「フォルマリン」蒸氣消毒又は日光消毒がよい。又卓、椅子等大きい物品は密閉した室中にて「フォルマリン」蒸氣消毒を行ふ事がある。或は三%石炭酸水、〇、二%昇汞水、金屬部を除く)三%「クレゾール」水又は三%石鹼汁を浸した雑巾で擦拭するがよい。以上は法定傳染病の外に、結核、丹毒、破傷風、産褥熱患者等に使用せし器具の消毒の際にも心得べきことである。

◎器械の殺菌法

(大阪大正四、四)

◎器械の消毒法

(兵庫大正五、四)

〔答〕 第三節

○産婆に必要な繻帶材料の種類及び其消毒法

(千葉大正五、四)

〔答〕 第四節

○左の物に對する消毒法を記せ

(栃木大正六、十)

(イ)ネラトン氏「カテーテル」

(ロ)臍帯結紮絲

(ハ)脱脂綿

(ニ)臍帯剪刀

〔答〕 イは煮沸又は蒸液

ハは蒸氣又は煮沸、時に藥液

ニは蒸氣又は煮沸、時に藥液

ニは煮沸、時に藥液(昇汞を除く)

○分娩時に於ける消毒に就て

(神奈川大正七、四)

〔答〕 「消毒の方法」に就てといふ問題でない、「消毒」に就てあるから、消毒の必要なる理由を

も簡単に述べ、次に第五章第一節及第二節をも述べ第三—五節の要點を記すがよい。

○尿道「カテーテル」の種類及び消毒法

(兵庫大正五、九)

〔答〕 尿道「カテーテル」には、ネラトン氏及び金屬製、硝子製がある。他に膀胱洗滌用「カテー

テル」がある。消毒は第三節。

(宮城大正七、四)

○器械及び消毒に就て

○左記の殺菌法如何

(大阪大正九、十)

(イ)手指、(ロ)臍帯剪刀、(ハ)臍帯結紮絲、(ニ)壓抵布

(大阪大正十一、十)

○産婆に必要な消毒法を問ふ

(山梨大正十二、四)

△消毒せるもの必しも清潔ならず又清潔なるもの必ずしも

美ならざる理由を詳記せよ

(徳島大正十四、四)

○消毒とは如何、及び分娩に必要な器具の消毒法を記せ

(栃木大正十四、四)

○左記に對する消毒方法を詳記せよ

(イ)産婦の外陰部、

(ロ)手指、

(ハ)導尿カテーテル、

(ニ)臍帯剪刀、

(ホ)ガーゼ、

(ヘ)脱脂綿、

○臍帯剪刀、ネラトン氏カテーテル及臍帯結紮絲の消毒法

(栃木大正十四、十)

○産婆に必要な消毒法大要

(山梨大正六、四)

○産婆に必要な消毒方法

(兵庫大正十五、四)

○分娩に臨んで産婆並に産婦に必要な消毒法を略記すべし

(福井大正十五、四)

- ◎産婆用機械類の消毒方法 (宮崎大正十五、四)
- ◎産婆用器械及繻帶材料の消毒方法 (徳島大正十五、四)
- ◎分娩介助に於ける消毒の方法及其の順序を記せ (兵庫昭和二、四)

試験問題 追加其一

- ◎婦人固有ノ体格ニ就テ記セ (長野、昭和二、十)
- ◎大小骨盤ノ境界ヲ簡單ニ答ヘヨ (埼玉、昭和三、十)
- ◎骨盤ヲ形成スル骨ノ名稱ヲ擧ゲ骨盤外計測法ニテ如何ナル箇所ヲ測定スルカ其平均距離ヲ示セ (秋田、昭和三、十)
- ◎外骨盤徑線ノ名稱及其ノ距離 (和歌山、昭和二、十)
- ◎全上 (和歌山、昭和三、十)
- ◎ボーテロツク氏線(外結合線)ニ就テ (臺灣、昭和二、四)
- ◎大骨盤ト小骨盤トハ如何ニシテ區別スルカ (福岡、昭和三、十)
- ◎外骨盤計測ノ際ニ測定スベキ各徑線ノ名稱、測点ニ長サヲ問フ (徳島、昭和三、四)
- ◎骨盤腔ニ就テ記セ (富山、昭和二、十)
- ◎成人ノ骨盤腔廣義ニ於ケルノ構造ヲ記セ (沖繩、昭和三、五)
- ◎小骨盤ヲ構成スル骨ノ名稱並ニ其ノ各部ニ於ケル最大徑線ノ名稱及距離ヲ示セ (熊本、昭和三、四)
- ◎骨盤上口ニ就テ知ル處ヲ記セ (鹿兒島、昭和三、五)
- ◎小骨盤入口ヲ形成スル骨ノ名稱及其各徑線ニ就テ記セ (群馬、昭和三、五)
- ◎真結合線解剖的結合線、對角結合線 (岡山、昭和三、四)
- ◎骨盤測部ニ就テ詳記セヨ (鳥取、昭和三、十)
- ◎小骨盤各部最大徑線ノ名稱及其長サ (岡山、昭和三、四)
- ◎骨盤誘導線 (岡山、昭和三、四)
- ◎骨盤誘導線トハ如何 (兵庫、昭和三、十)
- ◎骨盤軸ニ就テ説明セヨ (長野、昭和三、五)
- ◎骨盤軸(又ハ骨盤誘導線)トハ如何ヲ言フカ (神奈川、昭和三、十)
- ◎骨盤ヲ構成スル骨ノ名稱位置並ニ男女骨盤ノ差異ヲ記セ (鳥取、昭和三、五)

- ◎男女骨盤ノ差異 (茨城、昭和三、四)
- ◎男女骨盤ノ差異点ヲ記セ (宮城、昭和二、十)
- ◎全上 (神奈川、昭和三、五)
- ◎骨盤内ニ於ケル臓器ノ名稱ト其ノ作用ヲ略述セヨ (沖繩、昭和二、十一)
- ◎胸部ニ於ケル内臓ノ名稱及其位置ヲ記セ (富山、昭和三、五)
- ◎呼吸器管ノ名稱並ニ位置ヲ記セ (佐賀、昭和三、四)
- ◎氣管及氣管枝ノ構造ヲ記セ (佐賀、昭和二、十)
- ◎消化器ノ名稱ヲ順記セヨ (徳島、昭和三、十)
- ◎食道ト氣管トハ何レガ前何レガ後ニアリヤ (滋賀、昭和三、四)
- ◎消化液ヲ分泌スル臓器ノ名稱及ビ位置ヲ記セ (富山、昭和二、四)
- ◎澱粉質ヲ含有スル主ナル食品ノ名稱ヲ記シ且ツ之レガ消化ニ就テ (佐賀、昭和三、四)
- ◎正常尿ニ就テ知ル處ヲ記セ (富山、昭和三、五)
- ◎女子内生殖器ノ名稱及作用並ニ所在ヲ記セ (沖繩、昭和三、五)
- ◎子宮ノ位置構造及其ノ機能如何 (岩手、昭和三、四)
- ◎子宮ノ位置ヲ詳記セヨ (埼玉、昭和三、四)
- ◎子宮ト膀胱及直腸トノ關係 (岩手、昭和二、十)
- ◎子宮腔ノ長サニ就テ (台湾、昭和二、四)
- ◎子宮ト腹膜トノ關係ニ就テ記セ (鳥取、昭和三、五)
- ◎廣韌帯ニツキ簡單ニ説明セヨ (富山、昭和三、十)
- ◎輸卵管ノ構造及作用ヲ説明セヨ (鹿兒島、昭和二、十一)
- ◎輸卵管ノ位置形狀及作用ヲ記セ (廣島、昭和三、四)
- ◎輸卵管ノ作用 (滋賀、昭和三、四)
- ◎卵巣ノ位置構造及生理的機能ヲ記セ (岩手、昭和三、十)
- ◎グラウフ氏細胞ニ就テ知ル處ヲ記セ (三重、昭和三、十)
- ◎グラウフ氏細胞ニツキ簡單ニ説明セヨ (富山、昭和三、十)
- ◎月經ニ伴フ症狀 (宮城、昭和三、五)
- ◎月經ト妊娠トノ關係ヲ述ベヨ (山梨、昭和三、十)
- ◎月經ト排卵機能トノ關係 (長野、昭和三、五)
- ◎月經ト排卵機能トノ關係ニ就テ記セ (群馬、昭和三、十)
- ◎排卵機能ト月經トノ關係 (愛知、昭和三、十)
- ◎受精(受精)ニ就テ記シ受精ト排卵機能及月經ノ相互關係ヲ擧ゲヨ (山口、昭和三、十)

- ◎産婆ニ消毒ノ必要ナル理由ヲ記セ (京都、昭和三、五)
- ◎内診ノ際消毒ノ必要ナル所以及其消毒方法 (福島、昭和二、十一)
- ◎消毒法ノ種類 (徳島、昭和三、四)
- ◎消毒法ノ種類並ニ消毒上ノ注意要件ヲ記セ (山口、昭和三、十)
- ◎産婆ニ必要ナル消毒法ノ種類及其應用 (福島、昭和三、十)
- ◎消毒薬ノ種類及其溶解法 (大分、昭和三、四)
- ◎一%ノ昇汞水ニ付テ簡單ニ説明セヨ (栃木、大正七、九)

- ◎産科學上クレゾール石鹼液ノ特用セラレ、理由及其用途ヲ問フ (福井、昭和三、十)
- ◎手指ノ消毒法ニ就テ (和歌山、昭和二、四)
- ◎手ノ消毒法ヲ記セ (京都、昭和三、四)
- ◎急ヲ要スル場合産婆ノ手指ノ消毒法ヲ記セ (宮崎、昭和三、十)
- ◎妊産婦ノ外陰部消毒法ニ就テ (福井、昭和三、五)
- ◎全上 (和歌山、昭和二、十)
- ◎産婦ノ外陰部消毒法ヲ記セ (和歌山、昭和三、十)
- ◎骨盤ヲ構成スル諸骨ノ名稱並ニ産科ニ於テ注意スベキ諸点ヲ問フ (愛知、昭和四、秋)
- ◎骨盤ヲ構成スル骨ノ名稱位置並男女骨盤ノ差異ヲ記セ (鳥取、昭和三、春)
- ◎薦骨ノ位置形状各部ノ名稱並ニ聯接ヲ記セ (佐賀、昭和三、秋)

試験問題

追加其二

骨盤

- ◎産婆ノ業務範圍 (三重、昭和四、春)
- ◎同業者ニ對スル心得 (熊本、昭和四、春)
- ◎骨盤ヲ構成スル骨ノ名稱ヲ問フ (滋賀、昭和四、春)
- ◎骨盤ヲ構成スル骨並ニ關節ノ名稱ヲ列舉セヨ (鳥根、昭和四、春)

- ◎大骨盤ト小骨盤トノ境界線 (山形、昭和三、春)
- ◎大小骨盤ノ境界 (埼玉、昭和三、秋)

- ◎大骨盤ト小骨盤トハ如何ニシテ區別スルカ (福岡、昭和三、秋)
- ◎成人ノ骨盤腔(廣義ニ於ケル)ノ構成ヲ記セ (沖繩、昭和三、春)
- ◎骨盤ヲ形成スル骨ノ名稱ヲ舉ゲ骨盤外計測法ニテ如何ナル箇所ヲ測定スルカ其平均距離ヲ示セ (秋田、昭和三、秋)
- ◎外骨盤徑線ノ名稱及其ノ距離 (和歌山、昭和二、秋)
- ◎同上 (和歌山、昭和三、秋)
- ◎外骨盤計測ノ際ニ測定スベキ各徑線ノ名稱、測点及其長サヲ問フ (徳島、昭和三、春)
- ◎骨盤外直徑線トハ何ゾヤ並ビニ計測法(愛知、昭和二、秋)
- ◎妊婦骨盤ノ各徑線ニ就テ知ル所ヲ記セ(外計測法ニ依ル) (香川、昭和四、春)
- ◎小骨盤ノ構成ヲ説明セヨ (静岡、昭和四、秋)
- ◎骨盤腔ニ就テ記セ (富山、昭和二、秋)
- ◎骨部産道ニ於ケル諸徑線ノ長サノ變化及其ノ兒頭娩出ニ及ボス影響ヲ記セ (鹿兒島、昭和四、春)
- ◎小骨盤入口ヲ形成セル骨ノ名稱及各徑線ニ就テ記セ (宇和島、昭和四、春)
- ◎小骨盤入口ヲ形成スル骨ノ名稱及其各徑線ニ就テ記セ (群馬、昭和三、春)

- ◎骨盤上口ニ就テ知ル處ヲ記セ (鹿兒島、昭和三、春)
- ◎骨盤潤部ニ就キ詳記セヨ (鳥取、昭和三、秋)
- ◎婦人骨盤狭部ノ位置及其ノ部分ニ於ケル最モ短キ徑線如何 (三重、昭和二、秋)
- ◎小骨盤各部ノ最大徑線ト其ノ測點ヲ問フ (福井、昭和二、秋)
- ◎小骨盤ヲ構成スル骨ノ名稱並ニ其ノ各部ニ於ケル最大徑線ノ名稱及距離ヲ示セ (熊本、昭和三、春)
- ◎骨盤傾斜ニ就テ簡單ニ記述セヨ (長野、昭和四、春)
- ◎骨盤軸×ハ骨盤誘導線トハ何ヲ云フカ (神奈川、昭和三、秋)
- ◎骨盤誘導線トハ如何 (兵庫、昭和三、秋)
- ◎骨盤軸ニ就テ説明セヨ (長野、昭和三、春)
- ◎骨盤誘導線ヲ答ヘヨ (和歌山、昭和四、秋)
- ◎骨盤軸、唾液腺、囊狀靱帯ヲ簡單ニ説明セヨ (富山、昭和四、春)
- ◎小骨盤ニ於テ左ノ事項ニ答ヘヨ (岡山、昭和三、春)
- (イ)各部最大徑線ノ名稱及其長サ (ロ)骨盤誘導線
- (ハ)真結合線、解剖的結合線、對角結合線 (宮城、昭和二、秋)
- ◎男女骨盤ノ差異点ヲ記セ (茨城、昭和三、春)
- ◎男女骨盤ノ差異 (宮城、昭和二、秋)

- ◎男女骨盤ノ差異ヲ述ベヨ (神奈川、昭和三、春)
- ◎男女骨盤(廣義)ノ差異ニ就テ記述セヨ(長野、昭和四、春)
- ◎男女骨盤ノ相違ヲ記セヨ (鹿兒島、昭和四、秋)
- ◎骨盤ノ男女兩性ニ於ケル差異ヲ記セヨ (廣島、昭和四、秋)
- ◎正中縱断面ニ於ケル骨盤内臓器ノ位置ヲ圖解セヨ (千葉、昭和四、春)
- ◎骨盤ノ構造及骨盤内(婦人)ニ於ケル臓器ノ名稱ヲ記セヨ (岩手、昭和四、春)
- ◎骨盤内ニ於ケル臓器ノ名稱ト其ノ作用ヲ略述セヨ (沖繩、昭和二、秋)
- ◎女子骨盤腔内ニアル臓器ノ名稱及位置ヲ記セヨ (廣島、昭和三、秋)

生殖器

- ◎女子外陰部ノ構造ニツキテ知ル處ヲ記セヨ (岩手、昭和四、秋)
- ◎女子内生殖器ノ名稱及作用並ニ所在ヲ記セヨ (沖繩、昭和三、春)
- ◎膈ノ位置、形狀、構造及區別名稱ヲ詳記セヨ (佐賀、昭和四、秋)
- ◎内生殖器ノ名稱ヲ擧ゲ骨盤内ニ於ケル其位置ヲ圖解セヨ (鳥根、昭和四、春)
- ◎子宮ノ位置ヲ詳記セヨ (德島、昭和四、春)
- ◎子宮ノ位置及構造ヲ記セヨ (埼玉、昭和三、春)
- ◎子宮ノ位置構造及其ノ機能如何ヲ記セヨ (兵庫、昭和四、春)
- ◎子宮ノ位置形狀構造ヲ記セヨ (岩手、昭和三、春)
- ◎子宮ト膀胱及直腸トノ關係ヲ記セヨ (茨城、昭和三、秋)
- ◎子宮ト腹膜トノ關係ヲ記セヨ (岩手、昭和二、秋)
- ◎輸卵管ノ位置形狀及作用ヲ記セヨ (廣島、昭和三、春)
- ◎輸卵管ノ構造及作用ヲ說明セヨ (鹿兒島、昭和二、秋)
- ◎輸卵管ノ作用ヲ記セヨ (滋賀、昭和三、春)
- ◎卵巢ニツキテ知ル事ヲ記セヨ (鳥取、昭和四、春)
- ◎卵巢ニ就テ知ル所ヲ記セヨ (神奈川、昭和四、春)
- ◎卵巢ノ位置構造及生理的機能ヲ記セヨ (石川、昭和四、春)
- ◎卵巢ノ位置構造及作用ヲ記セヨ (岩手、昭和三、秋)
- ◎クラーフ氏細胞ニ就テ知ル處ヲ記セヨ (秋田、昭和四、春)
- ◎クラーフ氏細胞ヲ簡單ニ說明セヨ (三重、昭和三、秋)
- ◎卵子發育ノ經過ヲ記セヨ (石川、昭和四、春)
- ◎卵子發育ノ經過ヲ記セヨ (石川、昭和三、秋)
- ◎月經ノ意義ヲ記セヨ (鳥根、昭和四、春)
- ◎春機發動期(男女)ニ就テ簡單ニ記述セヨ (鳥根、昭和四、春)

- ◎月經初潮ノ時期ニ就テ知ルトコロヲ記セヨ (長野、昭和四、春)
- ◎月經ニ伴フ症狀ヲ記セヨ (愛知、昭和四、春)
- ◎受胎ト月經トノ關係ニ就テ記セヨ (宮城、昭和三、秋)
- ◎月經ト妊娠トノ關係ヲ述ベヨ (静岡、昭和二、秋)
- ◎月經ト排卵機能トノ關係ヲ記セヨ (山梨、昭和三、秋)
- ◎月經ト排卵機能トノ關係ヲ記セヨ (長野、昭和三、春)
- ◎月經ト排卵機能トノ關係ニ就テ記セヨ (群馬、昭和三、秋)
- ◎排卵機能ト月經トノ關係ヲ記セヨ (愛知、昭和三、秋)
- ◎妊娠及排卵作用ノ定義ヲ記セヨ (石川、昭和四、秋)
- ◎黃體ニ就キ知ル處ヲ記セヨ (大阪、昭和二、秋)
- ◎黃體ヲ說明セヨ (群馬、昭和四、春)
- ◎受胎作用ヲ說明セヨ (埼玉、昭和四、春)
- ◎受胎現象ニ就テ記セヨ (埼玉、昭和四、春)
- ◎受胎(受精)ニ就テ記シ受胎ト排卵機能及月經ノ相互關係ヲ擧ゲヨ (鳥取、昭和二、秋)
- ◎受胎(受精)ニ就テ記シ受胎ト排卵機能及月經ノ相互關係ヲ擧ゲヨ (山口、昭和三、秋)

其他ノ解剖生理

- ◎婦人固有ノ體格ニ就テ記セヨ (長野、昭和二、秋)
- ◎皮膚ノ機能ヲ簡單ニ說明セヨ (富山、昭和四、春)
- ◎血液ノ性質ヲ記セヨ (富山、昭和四、秋)
- ◎白血球ノ機能ヲ簡單ニ說明セヨ (富山、昭和四、春)
- ◎胸部ニ於ケル内臓ノ名稱及其ノ位置ヲ記セヨ (富山、昭和三、春)
- ◎呼吸器官ノ名稱並ニ位置ヲ記セヨ (佐賀、昭和三、春)
- ◎氣管及氣管支ノ構造ヲ記セヨ (佐賀、昭和二、秋)
- ◎横隔膜ノ位置形狀及生理的作用ヲ問フ(群馬、昭和四、秋)
- ◎空氣中ニ於テ呼吸スル際其ノ呼吸ニ白霧ヲ生ズル理由ヲ記セヨ (佐賀、昭和三、秋)
- ◎食道ト氣管トハ何レガ前何レガ後ニアリヤ (滋賀、昭和三、春)
- ◎消化器ノ名稱ヲ順記セヨ (德島、昭和三、秋)
- ◎消化液ノ種類及作用ヲ記セヨ (鳥取、昭和二、秋)
- ◎澱粉質ヲ含有スル主ナル食品ノ名稱ヲ記シ、且ツ之ガ消化ニ就テ詳記セヨ (佐賀、昭和三、春)
- ◎左記ノモノニ就テ記セヨ (鳥取、昭和二、秋)
- ◎イ) 蟲様突起 (ロ) 副腎 (ハ) 腸間膜 (鳥取、昭和二、秋)
- ◎腎臟ノ位置形狀並ニ其ノ構造ヲ記セヨ (富山、昭和四、秋)
- ◎尿ノ性状及成分ヲ記セヨ (佐賀、昭和四、秋)
- ◎正常尿ニ就テ知ル所ヲ記セヨ (富山、昭和三、春)



消毒法

- ◎消毒ノ意義及各種消毒法ノ特徴ヲ列記セヨ (山口、昭和四、秋)
- ◎消毒法ノ種類 (徳島、昭和三、春)
- ◎産婆ニ必要ナル消毒法ノ種類其應用 (福島、昭和三、秋)
- ◎消毒法ノ種類及應用 (新潟、昭和四、春)
- ◎消毒法ノ種類並ニ消毒上ノ注意要件ヲ記セ (山口、昭和三、秋)
- ◎消毒薬ノ種類及其稀釋法ヲ記セ (大阪、昭和四、春)
- ◎消毒薬ノ種類及其溶解法 (大分、昭和三、春)
- ◎産婆學上必要ナル消毒薬ヲ列舉シ及ビ其特征ヲ記セ (福井、昭和三、秋)
- ◎左ノ藥品ハ助産上如何ナル場合如何ニシテ使用スルカ (イ)昇汞(ロ)硼酸(ハ)クレゾール石鹼液(ニ)食鹽(ホ)硝酸銀(ヘ)石炭酸(ト)デルマトール (兵庫、昭和四、春)
- ◎三%石炭酸水五〇〇瓦ノ製法ニ就キ簡單ニ説明セヨ (栃木、昭和四、秋)
- ◎産科學上クレゾール石鹼液ノ特用セラル、理由及其ノ用途ヲ問フ (福井、昭和三、秋)
- ◎産科領域ニ於ケル消毒實行上ノ諸点ニ就テ記セ (山口、昭和四、春)
- ◎産婆ニ消毒ノ必要ナル理由及手ノ消毒法ヲ記セ (京都、昭和三、春)
- ◎産婆ノ手指消毒ニ就テ記セ (青森、昭和四、春)
- ◎手指ノ消毒方法ニ就テ記セ (宮崎、昭和三、秋)
- ◎手指ノ消毒方法ヲ述ベヨ (福岡、昭和四、春)
- ◎ヒュールプリンゲル氏手指消毒法ヲ述ベヨ (沖繩、昭和四、秋)
- ◎急ヲ要スル場合産婆ノ手指ノ消毒法ヲ記セ (福井、昭和三、春)
- ◎内診ノ際消毒ノ必要ナル所以及其消毒方法 (福島、昭和二、秋)
- ◎内診ノ際ニ於ケル消毒法ヲ記セ (福島、昭和四、春)
- ◎妊産婦ノ外陰部消毒法ニ就テ (和歌山、昭和二、秋)
- ◎同上 (和歌山、昭和三、秋)
- ◎産婦ノ外陰部消毒ノ方法ヲ記セ (廣島、昭和三、春)
- ◎陰腔消毒ハ何故完全ニ行ヒガタキヤ(和歌山、昭和四、春)
- ◎ゴム製器械及繃帶材料ノ消毒方法ヲ詳記セヨ (福岡、昭和四、秋)

試験問題

追加其三

- ◎産婆ノ職務ニ就テ記セ (静岡、昭和五、春)
- ◎産婆ノ任務如何 (大阪、昭和五、春)
- ◎産婆ハ如何ナル業務ナリヤ (石川、昭和五、秋)

骨盤

- ◎骨盤ヲ形成スル骨ノ名稱並ニ其關節ニ就キテ記セ (鳥取、昭和五、秋)
- ◎骨盤ノ構造ヲ述ベヨ (北海道、昭和五、春)
- ◎成人ノ骨盤構成並ニ其ノ内容 (長野、昭和五、春)
- ◎骨盤ヲ構成スル諸骨ノ名稱並ニ産科ニ於テ特ニ注意スベキ骨盤ノ諸點ヲ問フ (山梨、昭和五、春)
- ◎大小骨盤ノ境界 (兵庫、昭和五、春)
- ◎骨盤外計測法ニ依ル各線ノ距離ヲ問フ(宮城、昭和五、秋)
- ◎骨盤外計測ニ就イテ知ル所ヲ詳記セヨ(富山、昭和五、秋)
- ◎外骨盤徑線ノ名稱及其ノ距離ヲ答ヘヨ(福井、昭和五、春)
- ◎骨盤各部ノ名稱及徑線ヲ問フ (福島、昭和五、秋)
- ◎骨盤入口及出口ニ就イテ記セ (京畿道、昭和五、春)
- ◎骨盤入口及出口ノ徑線ニ就イテ記セ (大阪、昭和五、秋)
- ◎小骨盤ヲ構成スル骨ノ名稱及ビ其ノ部ニ於ケル最長、最短ノ徑線ヲ記セ (熊本、昭和五、春)

其ノ他ノ解剖學

- ◎小骨盤各部最大徑線ノ名稱、測點、長サヲ問フ (岡山、昭和五、春)
- ◎小骨盤各部ニ於ケル最大徑線及ビ其測定點ヲ記セ (群馬、昭和五、春)
- ◎眞結合線ニ對シ知ル處ヲ記セ (富山、昭和五、秋)
- ◎眞結合線ニ就キ知ル所ヲ記セ (樺太、昭和五、春)
- ◎骨盤傾斜 (兵庫、昭和五、春)
- ◎骨盤誘導線ニ就イテ記セ (宮崎、昭和五、春)
- ◎骨盤軸ニ就テ知ル處ヲ記セ (千葉、昭和五、春)
- ◎婦人小骨盤内ニ存在スル臟器ノ名稱及其ノ一般作用ヲ問フ (和歌山、昭和五、春)
- △膝關節ニ對シ知ル處ヲ記セ (富山、昭和五、秋)
- △篩骨ニ對シ知ル處ヲ記セ (富山、昭和五、秋)
- △縫匠筋ニ對シ知ル處ヲ記セ (富山、昭和五、秋)
- △冠狀動脈ニ對シ知ル處ヲ記セ (富山、昭和五、秋)
- 血液ニ就テ詳記セヨ (富山、昭和五、春)
- 交感神經ニ對シ知ル處ヲ記セ (富山、昭和五、秋)
- 延髓ニ對シ知ル處ヲ記セ (富山、昭和五、秋)
- 胃ノ位置形狀並ニ構造ヲ記セ (富山、昭和五、春)
- 膈上部ニ對シ知ル處ヲ記セ (富山、昭和五、秋)
- 肝臟ノ位置形狀並ニ其ノ機能ヲ記セ (富山、昭和五、秋)

# 生殖器

◎腎臟ノ位置形状及機能ヲ問フ (滋賀、昭和五、秋)

◎女性内生殖器ノ名稱位置、並ニ其ノ機能ヲ記セ (埼玉、昭和五、春)

◎モントゴメリー氏腺ヲ説明セヨ (長野、昭和五、秋)

◎バルトリニー氏腺ヲ説明セヨ (長野、昭和五、秋)

◎バルトリニー氏腺ヲ簡單ニ説明セヨ (臺灣、昭和五、春)

◎婦人尿道及尿道外口ノ位置並ニ長サ (茨城、昭和五、秋)

◎子宮ノ位置、形状、大サ及ビ部分の名稱ヲ記セ (山形、昭和五、春)

◎子宮ノ位置及構造ヲ問フ (静岡、昭和五、春)

◎子宮ト腹膜トノ關係 (鳥取、昭和五、春)

◎ドウグラス氏窩ヲ説明セヨ (長野、昭和五、秋)

◎輸卵管及卵巣ノ位置並ニ其ノ生理的機能 (岩手、昭和五、秋)

◎輸卵管ノ位置形状及作用ヲ記セ (群馬、昭和五、秋)

◎クラーフ氏ニ就キ産婆學上知ル處ヲ記セ (石川、昭和五、秋)

◎人類ノ卵ノ運命ニ就テ簡單ニ記セ (山梨、昭和五、秋)

◎月經ト排卵トノ時間的關係 (和歌山、昭和五、秋)

◎卵巣ノ生理的作用 (大分、昭和五、春)

◎黄體 (鳥取、昭和五、春)

# 消毒法

◎微菌トハ如何、其ノ主ナルモノ、種類ヲ擧ゲヨ (大阪、昭和五、春)

◎消毒法ノ種類及産婆ノ使用スベキ消毒藥五種ヲ擧ゲヨ (栃木、昭和五、春)

◎消毒法ノ種類名稱及消毒藥ノ名稱ト其ノ使用法ニ就テ記セ (宮崎、昭和五、春)

◎普通使用スル消毒藥五種ヲ擧ゲ其ノ使用方法ニ就テ記セ (宮崎、昭和五、秋)

◎消毒藥ノ四種ノ名稱及其ノ應用 (廣島、昭和五、秋)

◎産婆手指ノ消毒法如何 (京畿道、昭和五、春)

◎手指ノ消毒法ノ順序方法ヲ詳記セヨ (熊本、昭和五、春)

◎フェニールブリンゲル氏ニ就キ産婆學上知ル處ヲ記セ (石川、昭和五、秋)

◎完全ナル手指ノ消毒法ハ如何ニスベキヤ (山口、昭和五、春)

◎分娩時ニ於テ急救ノ場合ニ産婆トシテ手指消毒法如何ニスルカ (和歌山、昭和五、春)

◎蒸氣消毒ニ適セザル物件ノ種類 (三重、昭和五、春)

◎産婆用器械類ノ消毒法ヲ問フ (青森、昭和五、秋)

◎産婆用具ノ消毒法 (新潟、昭和五、春)

圖書第一卷

正價金七拾錢

送料金六錢

## 佐久間兼信

東京市神田區三崎町三丁目一三八番地

## 東京助産女學校

電話九段(三)七七、換發東京三九九二

東京市神田區猿樂町二丁目九番地

## 林 觀一郎

東京市神田區猿樂町二丁目九番地

## 東京助産女學校 特定印刷所

東京市本郷區龍岡町三十二番地

## 南山堂書肆

電話小石川(八)四七五七、換發東京六三三八

昭和六年三月廿七日初版發行	昭和五年九月十日初版發行	昭和四年三月十五日初版發行	昭和三年二月十日初版發行	昭和二年一月十五日初版發行	昭和二年二月十五日初版發行	昭和二年三月十五日初版發行	昭和二年四月十五日初版發行	昭和二年五月十五日初版發行	昭和二年六月十五日初版發行	昭和二年七月十五日初版發行	昭和二年八月十五日初版發行	昭和二年九月十五日初版發行	昭和二年十月十五日初版發行	昭和二年十一月十五日初版發行	昭和二年十二月十五日初版發行	昭和二年一月十五日初版發行	昭和二年二月十五日初版發行	昭和二年三月十五日初版發行	昭和二年四月十五日初版發行	昭和二年五月十五日初版發行	昭和二年六月十五日初版發行	昭和二年七月十五日初版發行	昭和二年八月十五日初版發行	昭和二年九月十五日初版發行	昭和二年十月十五日初版發行	昭和二年十一月十五日初版發行	昭和二年十二月十五日初版發行	昭和二年一月十五日初版發行	昭和二年二月十五日初版發行	昭和二年三月十五日初版發行	昭和二年四月十五日初版發行	昭和二年五月十五日初版發行	昭和二年六月十五日初版發行	昭和二年七月十五日初版發行	昭和二年八月十五日初版發行	昭和二年九月十五日初版發行	昭和二年十月十五日初版發行	昭和二年十一月十五日初版發行	昭和二年十二月十五日初版發行
---------------	--------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	----------------

### 特約賣捌



終

